



vol. **36**  
2017年 春号

川崎協同病院  
広報誌

<http://www.kawasaki-kyodo.jp>

# 受診者は約2割 子宮がんの検診を！ 20歳の市民には川崎市がクーポン発行

女性がかかる特有のがんで圧倒的に多いのは「乳がん」です。最近、報道も多く注目されています。ところが、これに比べて女性特有のがん第2位の「子宮がん」は注目度が低いようです。「恥ずかしい」、「検査が痛い」などの理由で、なかなか受診者が増えない「子宮がん検診」ですが、予防のためにはぜひ検診が必要です。(監修：川崎協同病院婦人科部長、藤島淑子)

## 子宮がんは「子宮頸がん」と「子宮体がん」

子宮はおおむね中が空洞の西洋梨の形をしています。「子宮頸がん」は子宮の下方、入口に続く狭い部分(子宮頸部や頸管)の上皮から発生するがんです。一方、「子宮体がん」は胎児を育てる子宮の内側(子宮内膜)から発生するがんです。「子宮頸がん」の発生は50歳未満の女性に多く、このうち低年齢の子のいる30～45歳女性がもっとも多くなっています。一方、「子宮体がん」は50歳以上の閉経後の女性に多く、ピークは50歳代です(注1)。

「子宮頸がん」は、予防ワクチンの存在とともに注目されるようになりました。しかし、日本では過去1年以内に検診を受けた女性は、25%程度にとどまっています(注2)。そして、子宮体がん検診受診者数は子宮頸がん検診受診者数の2%にすぎません(注3)。

## 検査は、体の外から—痛みは個人差があります

「子宮頸がん」検診はヘラのような器具でこすって細胞を採取しますが、痛みは個人差があり、ほとんどない方も多いです。「子宮体がん」検診は、子宮の奥にブラシのような器具を入れるため、その間、また、子宮内膜の細胞を少し取るときに瞬間的な痛みがあり、その後鈍い痛みがしばらく続く場合もあります。ただし、閉経前の女性では痛みは軽度です。

この検診は事前の食事制限もなく、容易にできる検査で、がんを発見することができます。なお、検査結果によっては精密検査が必要となることがあります。

## 検診によって防ぐ進行がん

検診受診者1万人のうち、精密検査まで受けた人のなかでのがんの発見数は、「子宮頸がん」では1人、「子宮体がん」では13人です(注3)。「子宮体がん」は、病状が進行していない早期の段階で出血することが多く、早期発見が可能です。しかし、「子宮頸がん」の早期発見は「検診がカギ」です。この検診によって、進行がんを早期発見し、死亡者数を減少させられることが証明されています。20歳以上の女性なら妊婦さんを含め誰でも検査できます。



産婦人科 藤島医師

子宮がんにかかる率も、死亡する率も、若年層で増加傾向にあります。当院の検査では、診察室に入ってから出るまで5分程度です。川崎市では、クーポン発行は20歳の市民(子宮頸がん検診に限り料金無料)のみであり、クーポン発行はありませんが20歳以上の市民は2年ごとに1回検診を受けることができます。

検診の	子宮頸がん 1000円
自己負担額	子宮頸がん・体がん(症状ある方限定) 1800円

(注1) 国立がん研究センターがん情報サービス(2012年作成)より10万人当たりの発生率比較を参照  
(注2) 国立がん研究センターがん情報サービス(2012年作成)  
(注3) 日本対がん協会 2014年調査



落ち着いた雰囲気の待合室

# トピックス TOPICS

新・看護部長に齋藤朱美が就任

## “あきらめない看護”を目指して

看護部長  
齋藤 朱美



3月16日付で、当院看護部長に齋藤朱美さいとうあけみが就任しました。前任の八木美智子は、統括看護部長として川崎医療生活協同組合本部に異動になりました。

私は、当院で看護師としてのスタートを切り、大師診療所では地域により密着した医療を体験してきました。これまで八木前看護部長のもとで、副看護部長を務めていました。この度、看護部長を任され、責任の重さに身が引き締まる思いです。

当院は、急性期病棟、障害者病棟、回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟というさまざまな機能を持った病棟を持ち、地域の多様なニーズに 대응してきました。また、特色として、さまざまな困難を抱える患者さんご家族を支えるという使命から、差額ベッド料は一切なく、治療費が心配の方でも無料定額診療制度が活用できます。

看護部の理念は、「話しあいの看護」、「学びあいの看護」、「育ちあいの看護」の三つの愛をもって、患者さんを中心に、人と人との関係を大事にして、看護・介護を実践していくことです。この三つの愛をもとに、当院では全職員で

略歴：山口県出身

1988年川崎協同病院入職、その後看護専門学校を卒業し2003年から看護師として川崎協同病院に勤務、2012年には大師診療所で管理師長就任。2015年に川崎協同病院副看護部長に就任し2017年3月16日に看護部長となる。

患者さんから学ぶという視点を根幹におき、患者訪問を実施しています。

患者さんの生活背景をしっかりと把握し、患者さんを生活者として、また社会の一員としてみつめ、支援していく看護を実践しています。

看護をする上でいちばん大事なことは「あきらめない看護」だと考え、「患者さんの立場に立ち、患者さんの要求から出発し、患者さんとともにたたかう」ことを心がけます。そして、患者さんが元気になる上でのパートナーとして、病気の症状だけでなく、患者さんがどのような生活をしてきたのか、何を望み、何を求めているのかという生活や背景まで「見る」ことを大切に、患者さんの思いを尊重した看護をすすめるよう努力しています。前看護部長に続きまして、ご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

## NEW FACE フレッシュな29人が新職員に元気で、優しい職員を目指して

川崎協同病院は、今年度あらたな職員29人をスタッフに迎え入れました。その内訳は、医師3人、薬剤師2人、看護師11人、准看護師1人、診療放射線技師1人、社会福祉士1人、言語聴覚士1人、理学療法士6人、作業療法士2人です。

4月1日から6日までの間、川崎医療生活協同組合主催の新入職員研修が行われました。ここでは、医療福祉

生協連や民医連の理念、地域の組合員さんの活動、職員としてのマナーや就業規則などを学習したほか、入院患者さんを連れてのお花見なども行いました。研修を通じて、組織人としての基礎を学習し、法人に対する理解と同期の絆を深めました。

入職にあたって、当院への就職を希望した理由について改めて尋ねてみると、「いい病院だと勧められた」、「地域に根差した考えや無差別・平等の理念に共感した」、「見学や実習・受診をしてみて働きたいと思った」といった答えが返ってきたのが印象的でした。全体として、当院や医療生協という法人のことを理解したうえで入職していることがわかりました。

また、自分が目指す職員像として、「明るく、元気な職員」、「患者さんに優しい職員」という声がありました。こうしたフレッシュで頼もしい姿に、迎える側としても一緒にこれからいい病院をつくっていこうと、気持ちが引き締まりました。

川崎協同病院 事務次長 宗和弥



入院患者さんのお花見会での新入職員による出し物





## 協同ふじさきクリニックで **オレンジカフェ** がオープン!

### 認知症への理解を深め、相談・交流の場として

今号より、川崎協同病院と同じく、川崎医療生協に所属する医療機関などをシリーズで紹介します。名づけて「かわいきょうたんけん隊」。  
第1回は、「協同ふじさきクリニック」です。

2005年6月、川崎協同病院に近接して、同病院から内科、整形外科、皮膚科を移し開設したふじさきクリニックは、健診センターも兼ね備えています。

また、地域に開かれたクリニックとしてさまざまな試みを検討しています。その一つが今年3月から、クリニック内の一室を利用してスタートした“認知症カフェ”としての「オレンジカフェ」です。

国は、一昨年から認知症の人が地域で暮らしやすくするために認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）を進めています。その一環として全国各地に誕生しているのが、「認知症カフェ」です。

ここでは、本人をはじめ家族、地域住民、専門職など誰もが参加でき、交流を図り、認知症への理解を深めています。「認知症カフェ」の形態はさまざまですが、オレンジカフェは、気楽に立ち寄れる場であるとともに、包括支援センタースタッフと認知症認定看護師の専門スタッフが関わり、専門スタッフに気軽に相談できる場になっています。

現在、オレンジカフェは、毎月第3水曜日の午後2時から3時半まで、ふじさきクリニック内で開いています。参加費は1回100円で、お茶代を含みます。



協同ふじさきクリニック 外観

※これまで当院と協力関係にある事業所などを訪問し紹介してきた「おじゃまします」もひきつづき随時掲載する予定です。



これまでのところ、介護をする家族、ご夫婦、独居の方など15人前後が毎回参加しています。お茶を楽しむほか、脳トレや体操、折り紙・ペーパークラフトなど指先を使う工作などもカフェでおこなっています。

「地域には認知症サポーターが大勢おり、今後力の発揮場所として、関わってもらいたい」と、カフェ担当で看護師の川村美和子師長は話します。

川崎市としても認知症カフェに力を入れており、市も視察に来ました。ふじさきクリニックは、地域の中でいち早くニーズ応えて認知症に取りくんでいます。

(問い合わせ先)

協同ふじさきクリニック 044-270-5131

担当：川村 美和子

(開催日) 毎月第3水曜日 14:00-15:30

(参加費) 1回100円

